



島高だより
令和7年1月号
(通巻第226号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

校長室から

『夢のお告げ』

校長 渡崎次郎

大学2年の後期授業で、物理実験学という必修科目を受講した。担当はF教授。必修科目なので、落とせば留年確定だったが、講義も実験も楽しかったし、この科目で留年した先輩がいるということも聞いたことがなかった。物理学科で同じサークルの川O君は、試験前に私の部屋に来て、一緒に勉強することが多かった。物理実験学の試験前も一緒に勉強して、試験本番も2人とも十分な手応えがあった。

当時、試験が終わっても、答案用紙は返却されなかった。学生係(事務室のような所)にある箱に、「優」・「良」・「可」が記された単位個人票が返却される。今では考えられないが、科目毎に輪ゴムで束ねられた単位個人票は、他人の単位個人票も見放題だった。採点が終わった科目から順に返却されて、学生は自分の単位個人票を持って帰るといいう仕組みだった。

ある日、物理実験学の単位個人票が返却された。川O君の成績は「優」(80点以上)だった。私も自信があったので、絶対に「優」だと思いながら単位個人票を探した。が、私の単位個人票はなかった。「なんで?」と思ったが、自信があったので、全く心配しなかった。だから、「『わたりざき』は、学籍番号が最後だから、F教授はまだ採点してないのだろう。採点も時間がかかって大変ね。」と、勝手に思い込んでしまった。

次の日、学生係に確認に行ったが、私の単位個人票はまだ無かった。さらに次の日も無かった。しかも、物理実験学の単位個人票は残りわずかになっていた。自信はあったが、さすがに私も心配になってきた。

その日の夜、夢を見た。私は何かの実験をしているのだが、なかなか上手くいかずに困っている。すると、電源装置のコードが外れ、そのコードが金色に輝きはじめ、とぐろを巻いた蛇になり、「ペロっ」と、舌を出して笑った。

「やばい。これはきっと何かある。」と思った私は、翌日すぐに学生係に行った。物理実験学の単位個人票は、とうとう1枚も無かった。私は、学生係の職員の方に、「私の物理実験学の単位個人票が無いのですが?」と、聞いてみたが、「こちらではわからないので、F教授に直接聞いてみたらどうですか?」と言われた。「なるほど。」と思い、大急ぎでF教授の研究室へ向かった。以下、そのやり取りを記す。

私 : 「失礼します。2年の渡崎です。F教授いらっしゃいますか?」
F教授 : 「は~い。いますよ、いますよ、いますとも。何の用?」
私 : 「失礼します。F先生、物理実験学の私の単位個人票が学生係に無いのですが。」
F教授 : 「は~? 単位個人票がない人は不可って意味よ。」
私 : 「え~! 何かの間違いでしょ!」
F教授 : 「間違えてしょって、君。不可は不可よ。」
私 : 「絶対何かの間違いです! ちゃんと調べてください! あの試験で60点取れない訳がないです!」
F教授 : 「君、言うね~。自信満々ね~。そこまで言うなら調べましょうか?」
(F教授は、机の引き出しから記録簿みたいな物を取り出した。)
F教授 : 「渡崎君ね。渡崎次郎君。え~と、48点。君、ちゃんと勉強したの? 48点じゃ、話にならんよ! 不可! 不可! 不可!」
私 : 「48点? そんな訳ないですよ! ちゃんと調べてください!」
F教授 : 「君、しつこいね。今、調べたでしょ。48点は不可です!」
私 : 「絶対おかしい! F先生、採点間違いじゃないですか? 答案用紙を見てください! 絶対おかしいですよ!」



生成AIで作成

F教授 : 「君、凄いな~。答案用紙はまだ捨ててないからあるけどさ。凄いな~。
こんなこと言ってきた学生、今までいないよ。凄いな~。」
私 : 「F先生、留年なんですよ! これ落としたら留年なんです! 困りますよ!」
F教授 : 「困りますよって、困っているのは私なんですけど。わかりました。答案用紙を見せましょう。こっちにおいで。」
(手招きされた私は、F教授の前に立った。答案用紙の束を取り出したF教授は、指をなめて、私の答案用紙を探し出した。)
F教授 : 「ほら、渡崎次郎君、48点。」
(見せられた答案用紙は、確かに私の物だった。確かに48点だ。ん? 確かに48点だが、その答案用紙には△が1つあるだけで、×はない。あとは○だけ。あれ? と思った瞬間、F教授の指が私の答案用紙を1枚めくった。すると、そこに、なんと、採点されていない私のもう1枚の答案用紙が姿を現した。)
F教授 : 「あ~!!!」
私 : 「あ~!!!」
F教授 : 「ごめん! これは、私のミス。採点するからちょっと待って!」
(赤のラッシュンペンで採点を始めたF教授。どんどん○が増えていく。)
F教授 : 「渡崎次郎君! 98点! 優! 優! 優! ごめん! ごめん! ごめん!」
(と、言いながら、F教授は「ペロっ」と、舌を出して笑った。)
「これが夢のお告げか!」と思ったが、ちゃんと勉強していなかったら、ここまで粘れなかっただろう。それにしても、しっかりしてよ、F教授!



生成AIで作成

校内 マラソン大会

12/19(木)、島原市陸上競技場にて、第45回校内マラソン大会を実施しました。過去3年間、荒天により中止が続いておりましたが、今年は生徒たちの願いが通じたのか、快晴の中で実施することができました。上位を目指して一生懸命に走る姿、自分のペースを崩さずにゴールを目指す姿、仲間を応援する姿、思うような結果が出ずに涙する姿など、日頃の学校生活では見ることでできない「生の表情」を見ることができ、大変意義のある大会になったと思います。また、大会運営をサポートしてくれた3年生の皆さんもありがとうございました。最後に、本校PTAの皆さまより、キットカットとスポーツドリンクをいただきました。心温まる差し入れをありがとうございました。

順位	1年男子	1年女子	2年男子	2年女子
1位	林田 瑛太	加藤 涼	高原 幸大	深堀 冬萌香
2位	立川 天翔	松尾 京香	稲本 康紀	宗 優 歩
3位	中村 晃熙	石橋 弥雅	永吉 未凰	森下 らいか



大学入学共通テストおよび出陣式

1月18日(土)・19日(日)に「大学入学共通テスト」が実施され、3年生170名が長崎大学文教キャンパス会場で受験しました。試験前日の「出陣式」では、金子PTA会長様と渡崎校長先生の熱い激励と島高パワーレンジャーから力をもらい、学校出発の際は1、2年生の盛大な見送りからもたくさんの声援と勇気をもらって出発できました。共通テスト当日は暖かく穏やかな天候に恵まれ、トラブルなく全員無事に終わりました。

生徒は20日(月)に自己採点した結果をもとに担任面談を経て国公立大学等へ出願します。入学試験は国公立大学後期日程、私大等の個別試験など3月中旬まで続きます。これからは個別学力試験に向けて学習に取り組む日々が続きます。全員が進路目標を実現するまで、学年団で一丸となって団体戦で頑張ります。最後まで応援よろしくお願いします。



パワーレンジャーからパワー注入中



いざ、出陣!

先輩、頑張って～～



試験会場(長崎大学)到着



試験直前まで復習

2学年から

78回生 集会資料 日時:2025年1月8日

2023年4月10日(入学式)から639日過ぎました

2026年3月1日(卒業式)まで417日

2026年1月17日(令和8年度大学入試共通テスト)まで374日

2025年5月31日(高総体1日目)まで143日



上は、年始の学年集会資料の一部です。島原高校で過ごせる時間が短くなってきました。高校卒業後は多くの方が自宅を離れます。自律した生活を送る力を身につけなければなりません。また、卒業後の納得できる進路を自分で選び、決め、勝ち取らなければなりません。勝ち取るための武器となるのは、部活動を活かす人は「大会の結果」であり、高校の「成績」や積み上げてきた「活動」、「英検」やボランティアなどの「経験」です。年始は「日程」「成績」「英検」の話を紹介しました。自分の武器となるものを手にして、保護者、地域、様々な支えに感謝しながら、進路選択を戦い抜いてほしいと思います。

1学年から

新年あけましておめでとうございます。昨年中は本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、昨年4月に島原高校に入学した直後は、慣れないことが多くあり、戸惑いが多かったと思います。しかし、学校生活に慣れ、学習、部活動、学校行事などあわただしい日々を送る中で、生徒たちは逞しく成長したと感じています。

1年生3学期は、2年生への土台作りの時期としてとても重要な時期です。4月から学校の中核を担う学年になるために、挨拶や掃除などの基本的な生活習慣を生徒に身につけさせるとともに、生徒がより主体的・積極的に活動できるよう指導を継続していきます。また、学習時間を定着させ生徒の進路実現が達成できるよう全力でサポートしていきます。今年も昨年同様、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年2月の行事予定

1日(土) 土曜講座[3年] 進研マーク実力[2年~2日]	18日(火) 高校入試[一般選抜検査~19日] 18日~20日は自宅学習
3日(月) 学年末考査時間割発表[1・2年]	22日(土) 土曜講座[3年]
7日(金) 学年末考査[~13日]	25日(火) 週休日振替 [3/1(土)卒業証書授与式]
8日(土) 土曜講座[3年]	国公立大学前期日程
14日(金) PTA評議員会・専門委員会	28日(金) 卒業証書授与式予行 卒業記念品贈呈式・表彰式 同窓会入会式[3年]
15日(土) 土曜講座[3年]	
17日(月) 高校入試会場設営(午後 放課)	